

会 議 録

平成 2 2 年 7 月 1 2 日

| | | | |
|-------|--|-----|-----|
| 審議会等名 | 平成 2 2 年度 第 1 回三条市文化財保護審議会 | | |
| 公開の別 | 全部公開 | | |
| 開催日時 | 平成 2 2 年 6 月 3 日 (木) 午前 1 0 時 0 0 分 ~ 正午 | | |
| 開催場所 | 三条市中央公民館 第二会議室 | 傍聴者 | 1 人 |
| 出席者 | 審議会委員 荒木会長、渡辺副会長、岡村委員、金子委員、関委員、高橋委員 長谷川委員、松井委員、松永委員、六原委員、若槻委員 事 務 局 金子生涯学習課長、近藤課長補佐、長谷川主査、田村係長、勝山主任 | | |
| 欠席者 | 五十嵐委員 | | |
| 議題 | (1) 三条市指定文化財の指定について ア 本成寺多宝塔 イ 最明寺千手観音菩薩坐像 ウ 本都寺阿弥陀如来立像 (2) 平成 2 1 年度文化財関係事業報告について (3) 平成 2 2 年度文化財関係事業計画について (4) 『三条市文化遺産リスト』追加候補物件について (5) その他 | | |
| | 1 荒木会長 開会のあいさつ | | |
| | 2 議題 | | |
| 事務局 | (1) 三条市指定文化財の指定について 平成 2 1 年度に調査した 3 件の文化財について、三条市教育委員会から三条市指定文化財の指定について諮問されている。それらについてご審議いただきたい。 宗教法人本成寺にある本成寺多宝塔は二重塔の形態で、明和 7 (1 7 7 0) 年に修理・再興したという記録が残っている。建築の様式もこの時代に妥当性があるということである。仏塔形式がよく整っていて、建築の分類としては塔の形式に位置付けられ、県内でも数少ない事例として評価される。 次は下田地区院内の宗教法人最明寺にある千手観音菩薩坐像である。スギと考えられる針葉樹材の一木造で、1 3 世紀前半の製作と考えられる。千手観音の坐像の古像は比較的少なく、後世の補修が少なくないが、1 3 世紀の造立時の作風を十分窺い知ることができる。 下田地区飯田の宗教法人本都寺にある阿弥陀如来立像は、鎌倉時代の安阿弥様の流れをくむいわゆる三尺阿弥陀立像である。仏師快成の作風に共通する特徴が見られ、鎌倉時代の 1 3 世紀中ごろくらいの製作と推定される。下田地区は、南都とのかかわりが深く、その中でこのような快成系統の三尺阿弥陀如来立像があるということは注目すべきである。 以上この 3 件の指定についてご審議いただきたい。 | | |

| | |
|-------|--|
| 荒木会長 | <p>本成寺多宝塔は、他に類を見ない二重塔という形式である。最明寺の千手観音菩薩坐像は非常に例の少ない千手観音の坐像である。また、本都寺の阿弥陀如来立像は金で塗られたところが良く残っているということも評価してよいと思う。</p> <p>関委員、本都寺の仏像について何か意見はあるか。</p> |
| 関委員 | <p>報告書の評価のとおり良い仏像だと思う。仏像に付属するものはなかったか。</p> |
| 事務局 | <p>本都寺の仏像には厨子があるが、今回の調査は熊田先生から仏像だけ調査していただいたので、仏像についての審議をお願いしたい。</p> |
| 荒木会長 | <p>千手観音坐像は傷んでいるところがあるようだが、修理は考えているか。</p> |
| 事務局 | <p>現在どうしても修理が必要な状況ではないと調査時に聞いている。将来的な管理は、所有者と相談しながら進めていきたい。</p> |
| 荒木会長 | <p>長谷川委員は本都寺の仏像を見られたか。</p> |
| 長谷川委員 | <p>前で見ている。仏像もさることながら、厨子が立派だったと記憶している。</p> |
| 荒木会長 | <p>本都寺のものについては、今回は仏像について審議をしたい。</p> <p>この諮問のあった3件の文化財について、文化財保護審議会として指定することが適当であると答申して良いか。</p> |
| | <p>(一同拍手)</p> |
| 荒木会長 | <p>三条市指定文化財に指定することが適当であると答申する。</p> |
| | <p>(2) 平成21年度文化財関係事業報告について</p> |
| 事務局 | <p>平成21年度の文化財保護審議会については、1回目は三条の指定文化財の指定についてご審議いただいた。2回目は3件の文化財詳細調査報告、芝地鶏の等級審査の報告を行った。文化財の公開については、文化財めぐりを行い、第1回目は市内と長岡方面へ近代の歴史的建物を訪ねた。第2回目は燕三条文化財めぐりとして、良寛さまの歩いた道をたどるというテーマで、燕市教育委員会と合同で開催した。また、三条かぐら鑑賞会、栄神楽鑑賞会を開催した。文化財の詳細調査は、6件行った。八木ヶ鼻、下田地区の伝統民俗芸能調査、中心市街地歴史的建造物調査、大崎浄水場建造物調査、本成寺多宝塔建造物調査、最明寺・本都寺仏像詳細調査を行った。また文化遺産リストは、新たに14件の物件を追加した。ふるさと記録事業で『ふるさと三条』第18号を作成した。5名の応募作品のほか、八木ヶ鼻詳細調査報告、登録有形文化財になった旧武徳殿の調査報告、近世の一揆についての3件は原稿を依頼し、充実した内容の本ができたと好評をいただいている。文化財保護助成については、市から5件行い、ふるさと文化再興事業の地域伝統文化伝承事業として伝統文化活性化国民協会から2件の助成をいただいた。文化財の保存整備としては、昨年のディスティネーションキャンペーンで注目を集めていた石川雲蝶の石動神社の彫刻や昨年国登録有形文化財になった歴史民俗産業資料館(旧武徳殿)市の指定文化財になった来迎寺観音堂の文化財説明板の整備をさせていただいた。文化財防火デーは、国登録有形文化財になった旧武徳殿を会場に実施した。旧武徳殿が国の登録有形文化財になった記念に、講演会と現地見学をさせていただいた。中心市街地歴史的建造物調査報告会では、第1部まち歩き、第2部報告会で、主に長岡造形大学教授の平山育男先生から報告していただき100名の参加者を得た。</p> |

| | |
|------|--|
| | 埋蔵文化財の調査は10件の本発掘調査及び確認・試掘調査を行った。中でも五百川遺跡発掘調査は北五百川地域ほ場整備に伴う大規模な発掘調査で、縄文時代の集落跡が検出された。新堀遺跡発掘調査は体育館建設に伴い発掘調査を実施し、平安時代及び室町時代の集落跡が発見された。新堀遺跡発掘期間中に説明会等を開催し、地元の小学生からも見学していただいた。埋蔵文化財の管理活用は、遺跡発掘調査速報展を開催し、来場者は1459名で、体験イベントも行い参加者から喜ばれた。また、「ドキ土器縄文道場」という高校生以上の市民対象の縄文土器作りの体験講座を開催した。その他に、展示、活用できる完形の縄文土器を専門業者に委託し復元を行ったり、古代衣装復元品製作ということで縄文時代、弥生時代、古墳時代の衣装の復元品を製作した。遺跡説明板設置は御淵上遺跡の説明板を設置させていただいた。市の事業として出張トークも実施した。 |
| 荒木会長 | 出張トークで「三条の文化財とまちのあゆみ」は1回のみであるのが、「市内の遺跡に見る古代の暮らし」の方は8回もあるが人気があるということか。 |
| 事務局 | 「市内の遺跡に見る古代の暮らし」は多くの方に利用していただいている。これは小学校・中学校の歴史授業の一環で、土器や石器に触れてもらいながら、市内の遺跡の発掘調査の成果を知ってもらうように工夫をされており、好評をいただいている。 |
| 荒木会長 | 松井委員は、遺跡関係について何かあるか。 |
| 松井委員 | 毎年、遺跡関係の業務が増えており、埋蔵文化財の管理や収納も手いっぱいのような気がする。 |
| 荒木会長 | 遺跡関係の管理については大変だと考えられるが。 |
| 事務局 | 数年前から旧大浦保育所の建物を使い資料分類、保存、整理等を行っている。出土品の保管場所は市内の2、3箇所に分散している。 |
| 荒木会長 | 何人くらいで作業しているか。 |
| 事務局 | 文化財係として正職員3人、嘱託員2人、臨時職員2人の計7人で埋蔵文化財と文化財の調査の業務等を行っている。 |
| 荒木会長 | 三条は県内有数の遺跡がたくさんあるところという話を聞いた。 |
| 松井委員 | 私も所属していた三条商業高等学校社会科クラブ考古班では、40年にわたって、特に下田地区を中心とした五十嵐川流域で調査を実施し、多くの遺跡を発見しすばらしい成果がある。 |
| 荒木会長 | 下田地区に限らず、栄地区の岡野新田、福島新田も平成21年度に調査されている。 |
| 松井委員 | 栄地区もそうだが、三条市は平野部にも広く遺跡が分布している。 |
| 荒木会長 | 燕三条文化財めぐりについては、良寛人気があって大勢の方が参加された。金子委員、何かあるか。 |
| 金子委員 | 文化財めぐりは下田地区も行ってもらいたい。 |
| 荒木会長 | 高橋委員は民俗について何か意見あるか。 |
| 高橋委員 | 文化財めぐりに関連してだが、どこの市町村もまち歩きなどが盛んになってきている。一般の方の中でも興味のある方がたくさんいられるので、その中に文化財もとり入れると親しんでいただけるきっかけになると思う。 |
| 荒木会長 | 大がかりなものではなく、身近なまちを歩くということか。 |

| | |
|------|---|
| 高橋委員 | <p>昨年度観光関係で石川雲蝶ボランティアガイドの育成を行ったが、もう少し文化財としての神社・仏閣の説明などを指導した方が良かったのではないか。石川雲蝶のブームも一過性で終わってしまうような気がする。</p> <p>また、鍛冶も三条の大事な文化なので大事にしていきたい。</p> |
| 荒木会長 | <p>私は以前、本成寺界隈や四日町界隈で小学生から成人まで、20人程度で半日まち歩きを行ったことがある。参考にしていきたい。</p> |
| 事務局 | <p>鍛冶関係では、遺跡から製鉄址や鍋などが出土していて、鍛冶道場で9月に行われる鍛冶まつりに展示させていただいて連携を図っている。</p> <p>また、石川雲蝶のボランティアガイドの育成は営業戦略室で行ったが、生涯学習課では講師として専門家などを紹介している。</p> |
| 荒木会長 | <p>他に質問、意見はないか。</p> |
| | <p>(質疑、意見なし)</p> |
| | <p>(3) 平成22年度文化財関係事業計画について</p> |
| 事務局 | <p>文化財保護審議会は年2回させていただきたい。文化財の公開については、文化財めぐりを、昨年と同様燕市と三条市と合同で企画していきたい。文化財の調査管理、活用については、昨年、中心市街地歴史的建造物の全棟調査を外見から調査したが、今年は建造物の中に入って詳細な図面を作る詳細調査を行う。無形民俗文化財と史跡などの文化財の調査、また文化遺産リストの整備や民具の整理を実施する予定である。その他に新しい指定文化財をテーマに講演会をさせていただきたい。</p> <p>埋蔵文化財の調査は、吉野屋遺跡がある。燕三条遺跡展を燕市教育委員会と合同開催を計画している。土と炎の縄文体験講座、保内三王山古墳の出土品のレプリカ製作、吉野屋遺跡出土縄文土器の復元などを行う。また新潟市、長岡市、十日町市、津南町が加盟している信濃川火焰街道連携協議会に、新たに三条市が平成22年度加盟することになっている。</p> |
| 荒木会長 | <p>岡村委員何か質問はあるか。</p> |
| 岡村委員 | <p>いろんな分野で勢力的に取り組んで結構なことだと思う。昨年度、栄神楽鑑賞会を拝見させてもらったが、きれいな舞に徐々に感動した。神楽をされる前に、少し解説をされながら舞っていたが、パンフレット等を作られて配布されるともっとわかりやすかったと思うが、今後検討されてはどうか。</p> |
| 事務局 | <p>三条かぐら鑑賞会については演目を解説したパンフレットを三条神楽保存会で作っている。栄神楽鑑賞会は栄神楽保存会が主体となっており、今までは作られていないので、パンフレットがあればわかりやすいと伝えたい。</p> |
| 松永委員 | <p>仏像や考古学的なことになるによくわからないが、製作年代の推定について、疑問に思う部分もあるがどうか。</p> |
| 荒木会長 | <p>年代決定はどのような方法ですかという疑問か。</p> |
| 松永委員 | <p>年代推定の根拠などについてどうか。</p> |
| 事務局 | <p>遺跡の場合、縄文時代等の年代を決めるのは、土器の特徴などで決めている。</p> |
| 松永委員 | <p>それはわかるが、仏像はどうか。お寺にその仏像が昔からあったのか、それとも後でどこからか移されてきたのかなども調べる必要があると思う。</p> |

| | |
|------|--|
| 事務局 | 今回は文化財として仏像そのものの調査を行った。出自などの調査は日程等の都合で行っていない。仏像の文化財的価値を評価してもらった調査で、熊田先生が、奈良、京都などの色々な仏像の典型的なタイプから導き出された年代観で判断されている。 |
| 松永委員 | 古文書は年代が書いてあるが、仏像に年代が書いてないので疑問に思った。 |
| 事務局 | すでに指定文化財になっている仏像についても、古文書や仏像胎内に年代を書いた文字があったわけではなく、作風や様式などから鎌倉後期であるとか、平安末期であるとか位置付けされている。建造物の年代も同様だと思う。今回の本成寺多宝塔は、古文書からは明和7年となっていて、建築様式からも妥当性があるということで年代決定している。棟札等があれば、年代決定の根拠になる。これから説明する丸井今井邸についても明治、大正、昭和と100年ぐらいの間の話だが、建築年代がはっきりとわからない。これもまた推定となっている。ある程度大まかな時代性とか年代の中で物件の時期とさせてもらっている。 |
| 荒木会長 | 先ほど高橋委員から鍛冶の話があったが、三条の鍛冶の習俗というようなものを調べるといようなことは考えられないか。 |
| 事務局 | 鍛冶の習俗とは例えばどのようなものか。 |
| 荒木会長 | 年中行事というか、こういう日にはどういことをするのかなど。明治期にはどうだった、大正期にはどうだったというようなことまでいくかどうかはわからないが、現在のものから遡って考えてみてはどうか。 |
| 事務局 | 『三条市史』民俗編で、年中行事的なものがある程度調査されている。例えば金山講が掲載されている。 |
| 荒木会長 | 金山講の掛軸がどのような使われ方をしていたかなどがある。 文化財めぐりはテーマや見学先の案があるか。 |
| 事務局 | 燕三条文化財めぐりは漢学をテーマに考えており、諸橋記念館と例えば燕市吉田地区に長善館にも漢籍等の文化財等がある。他にいい案があればお聞かせいただきたい。 |
| 荒木会長 | 仏像ブームであり、今回2点指定の答申を行ったので、仏像をテーマにめぐるといようなものはどうか。三条には国重要文化財1点、県指定文化財1点がある。燕市には五智堂の五智如来をこういう機会で見られればいいのではないかと思う。 |
| 事務局 | 答申をしていただいた仏像がある本都寺には、やはり仏像をみせて欲しいといような方もいらっしゃるそうだ。やはり仏像ブームかと思っている。最明寺千手観音坐像の公開は御開帳だけとなっている。 |
| 荒木会長 | 千手観音坐像は常には見られないのか。 |
| 事務局 | 御開帳のみと聞いている。 |
| 関委員 | 保内三王山古墳群出土品レプリカ製作は、出前授業などで子供たちが手にふれることができるようにと意図したレプリカ製作か。重要品の銅鏡は、レプリカ製作していないのか。 |
| 事務局 | 銅鏡、鉄製品、管玉などのレプリカを製作する。 |
| 荒木会長 | 以前に2点作製して、1点はさわられるようになっていなかったか。 |
| 事務局 | 当時とほぼ同じ材料を使って子供たちがさわられるように復元品を製作した。今回は |

| | |
|-------|---|
| | レプリカの作製なので樹脂ということになる。 |
| 荒木会長 | レプリカや復元品で元はこういう形だったとか、こういう色だったということがわかることも非常に良いことだ。ぜひ進めていただきたい。 |
| 六原委員 | 民具の整理が今年から始まるが、使われなくなって時間が経つと、いつの年代のものか、何に使用したものかなどがわからなくなってしまふ。一番身近な農家の話をすると、子供の時から見ていた農具や、生活に密着した品物がだんだん使われなくなると、私があっても自分達の子供や孫ではわからなくなる。あとでそれを収蔵した時に、何に使ったかなど調べることにになると相当の労力もいるし、調査もなかなか難しくなるが、今ならまだ間に合うと思う。他の職業の方ももちろんそうだが、例えば農具の鍬がなくなって、新しい農具だったティラーや耕運機、トラクターや大型機械になったが、先にいくとみんな姿を消してしまうだろう。そういうものを今のうちに保存できないか。保存するには場所的になかなか大変だが、100年も経てばそのようなものもさっぱりわからなくなるので、民俗資料となってくると思う。 |
| 荒木会長 | 過去に受け入れた民具だけではなくて、新たに収集も必要だということか。 |
| 六原委員 | 新しいものになってしまうが、10年や20年くらい前でもいいが、生活に密着した品物でさえ、10年や20年も経つと、違う機械になったり、なくなったりして、忘れられてしまふ。それから収集したり、調査したりするとさっぱりわからなくなってしまう。 |
| 荒木会長 | 収集するとしても、なかなか難しいものがあるかと思うので、今後考えていただくということにしたい。 |
| 六原委員 | 民具の整理が今年から始まるので、少しでもできないかと思う。 |
| 事務局 | 耐火の広い収蔵施設があれば理想的だと思う。現在所蔵している民具の中でも、用途などがわからないものもある。まずはこれらを整理し、次の段階で考えさせていただきたい。下田郷資料館にも寄贈の申し出があるが、展示や収蔵庫の許容量の問題でなかなか受け入れることが難しい状況である。 |
| 渡辺副会長 | 遺跡の説明板の設置が行われているが、過去に発掘された遺跡がどのような評価になっているのか。例えば、説明板が設置された下田地区の御淵上遺跡は、私が長岡市立科学博物館にいた時に、旧石器時代の遺跡ということで、非常によく知られていた。どちらかという縄文だ、火焰土器だという中で、旧石器時代の遺跡というのが非常に少ないと思う。その中で、この御淵上遺跡に説明板が初めて設置された。御淵上遺跡が旧石器時代の遺跡として、新潟県内の遺跡の中でも高く評価されていると思う。長岡市立科学博物館で発掘したので、地元には遺物が残っていないということか。学術的にいい遺跡が下田には多くあると思うので、しっかりと説明板を設置して、もっと紹介していくことが大事だと思う。 |
| 事務局 | 御淵上遺跡の発掘調査自体は、長岡市立科学博物館が実施し、その出土した石器等は長岡市立科学博物館で展示されている。この遺跡の評価は非常に高く、全国でも注目された旧石器時代の遺跡となっていて、価値のある遺跡だと思っている。出土品は長岡市立科学博物館の一つの目玉資料だと思う。現地での説明板がなく、考古学者や、一般の観光の方も現地を知りたいということで設置した。八木ヶ鼻だとか、漢学の里 |

| | |
|-------|--|
| | <p>だとか地域資源が多くあり、あの辺一体に訪れる方が多いので、今回御淵上遺跡に説明板を設置した。2年前に、下田地区に、東京の方から考古学のツアーがあり、嵐溪荘に泊まり、御淵上遺跡を案内した。見学者が多くあっても、ガイドがいなければ、現地や遺跡の内容がよくわからないということになるので設置した。そこに立って説明板を読めばその遺跡の意義が理解していただけるようになっていく。ちょうど眺望がきき、八木ヶ鼻を正面にみる、大変ロケーションのいい場所になっている。</p> |
| 渡辺副会長 | 御淵上遺跡の遺物は全くないのか。 |
| 事務局 | 地元には採集した遺物はあるが、考古資料は発掘したものは出土状態がわかり、資料的な価値が高い。一つのナイフ形石器にしても、それがどういう状態で出土したのかというのがわからないと学術的な価値は少し落ちることになる。表面採集資料は三条市の方でも所有している。 |
| 松井委員 | 私も御淵上遺跡の発掘調査に全部参加している。発掘してすばらしい遺跡だなと思ったのは、旧石器時代の2万年前の遺物が地下40～50cmのところから集中して出土し、動物を解体した場所ではないかと思われる地点とか、焼肉をしたと思われる跡などが見つかった。焼肉をしたと思われる跡は焼肉のにおいがするようになるほどのすばらしい出土状態であった。また同じ時期のものが一緒にでてきたということで、価値が高く、いい遺跡だと思った。それが、三条市のあの場所に残っていることは非常にすごいことである。先ほど、渡辺副会長がおっしゃったように、五十嵐川流域、特に下田地区においては旧石器時代の遺跡が非常に多く、注目していかなければならないと思う。 |
| 荒木会長 | 他に質問、意見はないか。 |
| | (質疑、意見なし) |
| | (4) 中心市街地歴史的建造物調査報告について |
| 事務局 | 昨年度中心市街地の建物調査を行い、三条の町家は、明治・大正・昭和のそれぞれの建物の特徴がわかり、観取できるという指摘があった。また、昭和の建物の中で、三条市しかないというのが、入母屋造でせがみ造りの妻入りの町家で、三条の特徴だといわれた。また、丸井今井邸については調査された平山先生の評価では、規模の大きい住宅建築における接客のための別屋敷で、近代になって特に2階建てとして整備が進んだもので、庭との関係も含めてその形式をよく示し残しており、三条の近代における歴史を語る上でも欠かすことができない建築物であるという評価であった。 |
| 荒木会長 | 民家の調査はこれが初めてか。 |
| 事務局 | そうである。 |
| 荒木会長 | 市史には何件か掲載されている。 |
| 事務局 | 平成21年度については、丸井今井邸の他に、つるがやの建物の詳細調査をさせていただいた。これについては、今後の調査と合わせてまとめることになっている。 |
| 荒木会長 | 中心市街地歴史的建造物調査報告会のパンフレットにある図はどのようにして書いたのか。 |
| 事務局 | この立面図は、学生、あるいは調査員が大通り沿いのすべての建物を一軒、一軒スケッチして作図した。 |

| | |
|-------|---|
| 荒木会長 | 幅は測定できるけども、高さはなかなか難しい。 |
| 事務局 | 比例を用いたのだと思う。 |
| 荒木会長 | これだけで貴重な資料になる。この件について、補足説明することはあるか。 |
| 事務局 | 丸井今井邸については、文化財的な価値が明らかにされたので、今後どのように保護していくか、例えば、登録有形文化財だとか、そういったことを検討させていただきたいと考えている。 |
| 荒木会長 | 他に質問、意見はないか。 |
| | (質疑、意見なし) |
| | (5) 『三条市文化遺産リスト』追加候補物件について |
| 事務局 | 三条市文化遺産リストで何か追加すべきもの等があれば、お聞かせ願いたい。 |
| 荒木会長 | これについては、各委員から情報収集して、追加物件を提出していただきたい。 |
| | (6) その他 |
| 荒木会長 | その他に何かあるか。 |
| 長谷川委員 | 5月22日に十日町市会議員の方が私のところにこられて、鎌倉幕府第5代執権北条時頼入道の話が全国に残っており、三条市内にもそういう話がないかと聞かれた。北条時頼が来たという話が残っていないか。 |
| 荒木会長 | 伝説としてはあちこちあるみたいだ。 |
| 長谷川委員 | 十日町市にあるそうだが、そういう話があったら教えていただきたい。 |
| 荒木会長 | 高橋委員は詳しいのではないか。 |
| 高橋委員 | 聞いたことがあるようだが、はっきりと覚えていない。 |
| 荒木会長 | もし、各委員お気づきであったら、長谷川委員へ連絡いただきたい。 |
| | 他に何かあるか。 |
| | (質疑、意見なし) |
| 荒木会長 | これで閉会とする。 |

以上